

令和4年度 市民意識調査の調査結果活用状況（令和6年5月現在）

No.	調査内容	調査目的	現時点での活用状況	活用状況もしくは活用結果
1	「広報活動」について (広報課)	<p>広報活動を行うにあたり、市民が情報を入手する際の手段や市の情報を入手していない層の把握が必須であるため。調査結果は広報活動の効果測定及び改善策の検討に活用する。</p> <p>また、「広報ふなばし」は市の施策やイベント情報など、市からのさまざまなお知らせが掲載されている重要な媒体である。広く市民に情報をお届けするにあたり、「広報ふなばし」の役割が大きいことから、閲読率を調査し、どうすればより多くの方に読んでもらえるか検討していきたい。</p> <p>ひいては、閲読率が上昇することで、各部署からの情報もより多くの方に伝わることとなるため。</p>	活用できた	<p>市民意識調査から、閲読率は近年微増しており、6割以上の人が市の事業・イベント情報などを広報ふなばしから入手していること、約8割の人が発行回数は現行のとおり月2回が好ましいと考えていることが分かった。また、読まないと答えた人の4割以上が広報紙の「入手方法が分からない」という結果であったことから、これまで実施してきたポスティングの周知や広報スタンドの増設、スマホ用無料アプリ「マチイロ」の周知など広報紙の受取方法の周知を、引き続き継続していく必要があると感じた。</p> <p>今後はさらに、さまざまな方法で広報紙の受取方法について周知をしていく。</p>
2	「自殺対策に関する意識」について (健康政策課)	<p>市民の自殺対策、及び自殺に対する考え方等についての市民の意識を把握し、今後の自殺対策の推進方法の検討の参考にするため。</p>	活用できた	<p>令和5年度は自殺対策連絡会議等で自殺対策計画の数値目標やこれまでの取組みの成果について評価し、更に今後の市の自殺対策の課題や目標等について協議するための資料として活用した。</p>
3	「地球温暖化」について (環境政策課 ゼロカーボンシティ推進室)	<p>地球温暖化問題に対する市民の取り組み状況を把握し、温室効果ガスの排出状況とあわせて総合的に評価することで「船橋市地球温暖化対策実行計画」（令和3年3月策定）の進捗管理の目安とするため。</p>	活用できた	<p>実践度の低かった取組（「家庭からのCO2排出量の見える化（エコノート）」、「エコマーク・省エネラベルの製品を選ぶ（グリーン購入）」、「エコ・クッキング」等の実践度が15%を切ったもの）の普及啓発を実施した。</p> <p>令和6年度事業にも参考とし事業を計画する。</p>
4	「市の施策」について (政策企画課)	<p>第3次船橋市総合計画の計画期間内における施策ごとの評価を行う際の基準とするため。</p>	活用できた	<p>市の施策に対する市民意識の基準を把握することができたため、今後は経年変化を捉え、市の施策検討の材料として活用していく。</p>